

- 12・11 「新」、今年の漢字—清水寺、貫主森清範氏、揮毫 (12・12M)
- 12・11 「Peace Night 9」—早大九条の会主催 (早大大隈講堂)—「私たちは核兵器も戦争もない平和な世界を選びたい」(500人以上参加)(12・12H)
- 12・11 教育無償化署名 1023 万筆集約—「ゆきとどいた教育を求める全国署名集約集会 (東京都千代田区、420 人参加)—1023 万 3718 人集約、21 年間で 3 億 8000 万人に (12・12H)
- ⇒12・13 「九条の会」、近畿交流会 (吹田市、関西大一約 700 人参加)—渡辺治氏講演 (12・15H)

天皇の政治利用—小沢幹事長の「中国外交」

- 12・11 天皇会見 1 ヶ月ルール問題—宮内庁羽毛田信吾長官 (説明要旨)
- 中国副主席との会見申出は 1 ヶ月を切った 11 月 26 日に外務省から宮内庁に内々あり、翌 27 日、応じかねると回答—外務省も了解したが、12 月 7 日官房長官から、日中関係の重要性にかんがみ内閣として是非会見をお願いするとの話、1 ヶ月ルールを尊重して欲しいと申し上げた。再度、総理の指示ということで 12 月 10 日に話があり、大変異例であるが、まげて陛下に会見をお願いした。陛下の国際親善の活動は、政府の行う外交とは次元を異にしている。相手国の政治的重要性とか、国の大小とか、関係なく行われてきた。憲法下における天皇陛下の務めや役割という基本的なあり方にもかかわる。今回のことはルールの理念と整合性が取れないし、残念なことをせざるを得なくなった。陛下を政治懸念の打開役になったら、今の憲法下での陛下のなさりようと大きく狂うことになる。こうした懸念を伝えたが、聞き届けられなかったのは甚だ残念。もう二度とこういうことがあってほしくない。(「天皇の政治利用に当る懸念があるということか」との記者の質問に)「大きく云えばそういうことだ。政治利用といったことを超えたところで外国とおつきあいするのが陛下の国際親善のありようで、それを政治的に重要だとか政治的懸案があるからだとかいうことでした

ら、天皇陛下の役割について非常に懸念する状況になるのではないか。」／
鳩山首相（記者）「小沢幹事長から話があったわけではない」（12・13Y）

⇒12・13M「異例の内閣批判、『ルール破り』『政治利用』問題視—天皇陛下特例会見、宮内庁長官が説明」「官邸要請—小沢氏訪中の直前」／N「小沢氏が影響か？、天皇陛下、中国副主席と会見—自民の安倍から、政治利用と批判」

⇒12・13 民主・渡辺周総務副大臣（テレビ朝日）、「政治利用と思われるようなことを要請したのは遺憾」

⇒12・14 鳩山首相（記者団）、天皇会見の正当化発言—「日中関係をさらに未来的に発展させるために大きな意味がある。判断は間違っていなかったと思う」（12・14M夕）

⇒12・14 中国習近平国家副主席、来日→12・16まで

⇒12・14 鳩山首相、習副主席会談—習氏、12・15 天皇との会見を念頭に「心から感謝」（12・15T）

⇒12・14 小沢幹事長（記者会見）、宮内庁長官を痛烈批判「天皇陛下の行為は内閣の助言と承認で行われるのが日本国憲法の理念だ」「(1ヵ月ルールについて) 宮内庁の役人が作ったから金科玉条で絶対だなんて、馬鹿な話があるか」「陛下の体調が優れないなら、優位性の低い行事はお休みになればいい」（羽毛田長官の報道各社への説明について）内閣の一部局の一役人が内閣の方針についてどうだこうだと言うのは憲法の理念、民主主義を理解していない。反対なら辞表を提出した後に言うべきだ」「(政府に私が副主席と陛下をお会いさせるべきだとか、させるべきでないとか云った事実はありません)」「(陛下ご自身に聞いてみたら)『手違い出遅れたかもしれないけど会いましょう』と必ずおっしゃると思う」「(12・15 小沢・習副主席会談中止) 私は中国に行ってきたばかり出し、(習氏は) 日程が忙しいだろう。ご無理なさらなくてもよいということだ」／**羽毛田長官**（記者団）、「憲法の一つの精神として、陛下は政治的に中立でなくてはならない。そのことに心を砕くのも私の役割だ」「辞めるつもりはありません」（12・15A、T）

→12・15A「ポスト胡、元首並み歓待—習氏、日中協力を強調—天皇会見、『特例』悪影響も」「天皇会見、党内外で批判—『政治利用』『強い要請、遺憾』」

→12・15Y「天皇会談問題・予算編成、『小沢流』で政権翻弄—独自論理で強行突破、要望『断れる人いない』」「宮内庁に意見1000件超、羽毛田長官支持が多数」

⇒12・15 中国、習近平副主席、天皇と会見（約24分間）（12・15A夕）

→12・15N「外交、目立つ中国傾斜—米と関係ギクシャク」「(社)日中関係も損ねる特例会見」／T「天皇特例会見、『反対は辞表出して云え』—小沢氏、宮内庁長官を批判—『優位性低い行事休みに』—羽毛田長官『今後も言い続ける』」「天皇特例会見—影に小沢氏？批判噴出—政治利用、与党からも疑念」「(社)天皇特例会見—親善も傷つけた不手際」

→12・16Y(社)「小沢氏記者会見—不穏当きわまる辞表提出発言」

／T(社)「羽副主席来日—成果損なう拙劣な外交」

→12・17A(社)「天皇会見問題—政治主導をはき違えるな」

／M(社)「天皇会見問題—冷静な論議が必要だ」

⇒12・17 大阪市議会、「天皇陛下の政治利用に反対する決議」（自民、公明、共産3会派賛成）（12・18A）

福祉切り捨て・東京大空襲を免罪する司法

12・14

老齢・母子加算廃止違憲訴訟敗訴判決—京都地裁（瀧華聰之裁判長）、請求棄却判決—京都府内の4人が、国が高齢者や独り親世帯を対象にした生活保護費の老齢加算と母子加算を段階的に減額、廃止したのは憲法25条や生活保護法に違反するとして、廃止決定した京都市と同府城陽市に処分取消を求めた訴訟で判決—廃止は「厚生労働大臣の裁量権の乱用があったとは言えず、違憲・違法ではない。憲法が保障する健康で文化的な最低限度の生活を下回る結果をもたらしたとも言えない」と判示／老齢加算は06年度

から、母子加算は 09 年度から廃止—母子加算は 09・12 復活／同種訴訟は 10 地裁に係属—東京、広島、福岡 3 地裁で棄却判決（12・14M夕）

- 12・14 **東京大空襲訴訟棄却判決—東京地裁**（鶴岡稔彦裁判長）、被災者や遺族 131 人が国に謝罪と約 14 億円の損害賠償を請求した訴訟で棄却判決—「原告らの受けた苦痛は計り知れないものがあり、提訴した心情は十分理解できる」
「戦争被害者に対する救済問題は、様々な政治的な配慮に基づき、立法を通じて解決すべき問題」「一般被災者に対しても旧軍人らと同様に、救済を与えることが国の義務であったとの原告の主張も心情的に理解できないわけではない」「戦争被害を記憶にとどめ、語り継いでいくためにも、できる限り配慮することは国家の道義的義務だといえる」などと判示（12・15A）
→12・15M「**東京大空襲訴訟—被害者・遺族が敗訴—東京地裁**、『救済、立法で』／T『軍・民差別』壁厚く、東京大空襲訴訟—『冷たい仕打ちだ』、原告に募る司法不信—『国の主張を迫認』『報われなかった』、憤る原告」「政権交代契機に・体験を聞かせて—立法へ手応え、積極的な議員も」／H「東京大空襲訴訟—軍人との差別を容認、東京地裁—原告の請求棄却、被害受忍の判断避ける—子どもたちのため訴え続ける、原告ら決意」「高齢化する被災者、政府の救済は急務」

布川事件再審確定—自白「全面可視化」の緊急性

- 12・14 **布川事件再審決定—最高裁第 2 小法廷**（竹内行夫裁判長）、布川事件の再審決定特別抗告棄却決定—再審確定／**布川事件**—67・8 茨城県利根町布川で大工・玉村象天氏（62）が殺害され、現金 10.7 万円が奪われた事件、櫻井昌司氏（62）、杉山卓男氏（63）両者が強盗殺人で逮捕され、67.12 起訴、78・7 最高裁、上告棄却—無期懲役確定→83・12 水戸地裁土浦支部へ第 1 次再審請求、88・2 東京高裁、即時抗告棄却、92・9 最高裁特別抗告棄却→96・11 二人とも仮出獄→05・9 同支部・第 2 次再審開始決定、08・7 東京高裁、検察官の即時抗告棄却→09・12・14 今回特別抗告棄却

→12・16M「布川事件再審確定—特別抗告を最高裁棄却、逮捕から42年」
「強盗殺人で無期判決、18年服役」「自白誘導批判再び—『可視化』論議に
拍車」「無実の叫び扉開く、布川事件再審確定—『不法行為』許せぬ、桜井
さん、杉山さん—当局に怒り、声荒げ—検察『有罪立証する』」／A「43年
目潔白への扉—朝から晩まで犯人扱い、心疲れ『やった』—杉山さん『今
は通過点』、桜井さん『実感はまだ』」

／T「重い扉また開いた—再審、流れ加速も—足利に続き今年2例目」

→12・17A(社)「布川再審決定—可視化は全面でなければ」／M(社)「布川事
件—再審の扉は広く開けよ」／Y(社)「布川事件再審—繰り返された自白偏
重の捜査」／T(社)「布川事件再審—誤談防ぐ手だてを急げ」

→12・18N(社)「再審が『可視化』の必要性示す」

→12・18M「量刑データベースに誤り—裁判員が参照—最高裁、点検を指
示」←12・16 覚せい剤事件巡る裁判員裁判で入力ミス判明／量刑データベ
ース—08・4 裁判員裁判対象事件に対して全国1審判決をデータベース化、
裁判員裁判を実施する全国の60地裁・支部の評議室に端末が置かれ、評議
の際裁判官が検索して裁判員に示すほか、検察官、弁護人も右端末から利
用できる

→12・18M「量刑誤データ、裁判員『ミス怖い』—影響懸念、運用批判も」
「システム全休の検証必要」「苦戦する弁護人『組織力の違い感じる』—審
理尽くされたか、迅速さと公正さ『両立難しく』」

普天間移設先送り—右往左往の鳩山政権

12・14 普天間方針—鳩山首相、関係4閣僚と協議、移設先方針5月末までに決め
ることを米側に伝える方針決める(12・15A)

→12・15Y「普天間移設先振り出し、政府方針きょう決定—来年、候補地
決定」／N「普天間移設、白紙の恐れ、移設先政府先送り—日米、隔たり
大きく」

←12・13「沖縄ひき逃げ米兵渡せ」村民総決起大会（読谷村役場、1500人参加）→11・7 外間政和氏（66）、米陸軍トリイ基地所属米兵にひき逃げされた事件で「村民そして県民の怒りは頂点に達した」と抗議声明（12・15H）

→12・16H「フィリピン、こうして米軍撤退させたー『基地移転先は米国が考えよ』脅しに屈せず草の根の運動」／T「政権交代効果じわり、どうみる？『普天間』先送りー地元『心強い』『県外移設を』『外交転換米の十八番ー京都議定書や核実験問題…、『見直し当然』『不審さ気付いた』」

→12・17H「沖縄・辺野古周辺ー米軍ヘリパット 39カ所ー墜落の危険日常化、新基地と一体運用可能にー本紙調査」

12・15 N「上場企業ーアジア売上高・米を抜くー4～9月、金利益の46%稼ぐ」／T「回復『踊り場』感、日銀短観ー設備投資、雇用軒並み悪化」「賃下げ企業、最悪の12.9%ー09年厚労省調べ、最も重視は『業績』61%」

→12・15H「マツダ無法『派遣切り』ー正社員へたたかうーモノ扱いされた悔しさ、忘れない」

⇒12・15 高校生就職内定率 55.2%（文科省発表）ー来週卒業予定高校生の10月末現在の就職内定率、08年同期比で11.6%の大幅減／国公立高卒業予定者107万3619人、うち就職希望18万7360人、内定者10万3352人→「超氷河期」再来の恐れ（12・16M）

→12・16 Y夕「就活学生、山谷が拠点ー地方から簡易宿泊所へー長期戦覚悟、安くじっくり」

12・15 A(社)「法制局答弁ー法で禁じるべきことか」

12・15 鳩山首相、共産志位委員長と会見ー志位氏、普天間移設問題で「移設先条件付き返還」を抜け出し、無条件撤去の立場での交渉を要請（12・15H）

⇒12・15 普天間ー鳩山首相、与党3党との基本政策閣僚委員会ー3等で作業部会を作り、辺野古沖移設現行計画も含め移設先の再検等を決める一年以内決着は断念→12・15 米ルース駐日大使に伝達（12・15A夕）

⇒12・15 天皇、中国習近平副主席と会見

→12・15A夕「天皇陛下、習副主席と会見―『特例』問題視の中―小沢氏
発言さらに波紋」

12・15 予算基本方針決定―政府、10年度予算の基本方針を閣議決定―①日本経済
の現状「持ち直してきているが、高い失業率や下落傾向にある物価水準な
ど依然として情勢は厳しい」②10年度予算編成―「国民に安心と活力をも
たらす」―子育て、雇用、環境、科学技術を重視、地方財源を確保③マニ
フェスト―主要政策について「優先順位をつけて効率的に実施する」④財
政健全化枠組み―「中長期に公的債務残高の対GDP比を安定的に縮減さ
せていく」「国債発行額を約44兆円以内に抑える」⑤特別会計を見直す―
など(12・15M夕、T夕)

12・15 N夕「労働相談最多ペース―解雇などトラブル都内3割増、『生活できない』
切実―都が特別相談会」

12・15 普天間先送り―政府、米に伝達―「計画白紙化の恐れ」(12・16A)

→12・16A「普天間袋小路―3党決定『越年だけ』―厳しさ増す現行案決着、
動かせず固定化の懸念も―米、『決断できぬ』懐疑の目―沖縄、『評価』『残
念』割れる」／M「迷走の13年、普天間移設の構図―地元がバラバラにな
ってしまう。翻弄される沖縄―米の不信拡大必至、同盟破綻は望まず」／
Y「同盟より連立優先、普天間白紙―期限なお火種―『閣内不統一』米、
募る不信―沖縄知事『早く具体案を』」

→12・16 普天間めぐる社説

●A「普天間先送り―鳩山外交に募る不安」

●M「基地移設の政府方針―『普天間』固定化避けよ、問われる首相の指
導力」

●Y「普天間移設―展望なき『越年』毛手地は誤りだ」

●T「普天間越年―『県外・国外』に軸足を」

●12・17H(主)「普天間基地撤去―『移設先』探しはもうやめよう」

⇒12・15 米国、「先送り遺憾」―米海兵隊制服組コンウェイ総司令官(記者
会見)、普天間先送り「それが彼らの決定ならば遺憾だ」(12・16A夕)

- 12・15 国と地方の借金 825 兆円（大串博志財務政務官発表）－長期債務残高 825 兆円（08 年比 9 兆円増）、GDP 比 171%－先進工で最悪、09 年 410 兆円／内訳一国 627 兆円、地方分 197 兆円（12・16A）

「政策仕切り」－小沢民主党の政治支配

- 12・16 鳩山政府へ小沢幹事長ら「要望書」提出－主要マニフェストの改変で予算編成に「助け舟」－「予算編成と税制改正に公然介入」
- －小沢幹事長、副幹事ら 25 人、首相官邸を訪ねて
- 「来年度予算と税制に関する要望書」を提出－小沢氏「政治主導でこうした要望について実現するよう最大限の努力をしてもらいたい」と要請
- －鳩山首相「党のご要望、ご意見というよりも国民の思いだと、その通りだと思ふ」と小沢氏の言葉をおうむ返しにしたうえ、「ありがたい」と 4 回にわたり、謝礼を述べた（12・17A）
- －「要望事項」①暫定税率－現在の水準を維持②子ども手当－所得制限を設ける③高校無償化・高速道路無料化、農家個別補償は公約通り（全文－12・17A）
- 12・17A 「ガソリン税率、子ども手当所得制限－政府へ民主要望、主要マニフェストを改変」「変更過程が不透明」「政策、党に主導権－民主、政府へ要望書－陳情のはずが小沢裁定、手詰まり首相に好都合」／M「民主予算要望、財源確保公約ぶれ－暫定税率、廃止うやむや－子ども手当所得制限、「線引き」困難」／Y「目標公約大幅後退－「暫定税率」「子ども手当」、民主が予算要望－財源、やっぱりなかった－小沢氏、選挙本意の注文」
- 12・17N 「鳩山首相政権 3 ヶ月－小沢氏、際立つ存在感－首相の言葉重みなく」
- 12・18A 「「小沢要望」政権動揺－国交省「亡霊が出た」、高速建設推進へ転換－助け舟・・・でも公約違反、暫定税率の水準維持－地方財源は解釈混乱」「民主予算要望－国民の声か天の声か、小沢氏周辺の説明不能－子ども

手当、暫定是率『陳情なし』も

→12・18 小沢氏要望めぐる社説

A「民主予算要望―権力はどこにあるのか」

M「民主党予算要望―公約を『密室』で破るのか」

Y『来年度予算―バラマキ公約の是正は当然だ』

T「民主予算要望―きちんと説明責任を」

⇒12・17『普天間』無条件返還を！―東京都内、沖縄に連帯する緊急集会
(200人参加) (12・18H)

国会議員の意識調査と政治地図

12・15 Y (国会議員意識調査)

―11・4～12・7 グローバル化と国内政治研究グループとの共同調査―回答数、民主 219 人、自民 97 人、公明 24 人、共 8 人、社民 9 人、国民新 5、みんな 4 人、①現行憲法をそのまま維持―賛成 12.8%、やや賛成 14.6%、どちらとも言えない 17.0%、やや反対 24.2%、反対 30.3%、DK1.1%

②現憲法の改正、追加項目は―積極的な安全保障の国際協力 44.1%、良好な環境で生活する権利 43.6%、自衛のための軍隊保持 37.2%、個人情報やプライバシーの保護 32.2%、行政機関の情報を知る権利 29.3%、憲法裁判所の設置 18.6%…

③憲法審査会を早期始動に―賛成 42.3%、やや賛成 16.2%、どちらともいえない 29.0%、やや反対 3.5%、反対 8.2%、DK0.8%

④集団的自衛権の行使できないとの政府解釈―行使できるようにすべきだ 44.1%、不行使のままにしておくべきだ 47.9%、DK8.0%

⑤愛国心教育―賛成 34.0%、やや賛成 23.9%、どちらともいえない 23.4%、やや反対 8.0%、反対 9.0%、DK1.6%

⑥国の予算の重点―公共事業と社会福祉との配分―公共事業 2.7%、同じ程度 16.2%、社会福祉 77.1%

- ⑦**財政再建のための増税**—賛成 54.7%、反対 33.4%、どちらともいえない 23.4%、DK1.3%
- ⑧**社会保障制度維持のための消費税率引上げ**—賛成 66.2%、反対 16.7%、どちらともいえない 16.2%、DK0.8%
- ⑨**政権交代しても外交政策は継続性を重視すべきとの意見**—賛成 65.2%、反対 14.6%、どちらともいえない 19.1%、DK1.1%
- ⑩**国益より国際協調を重視すべきとの意見**—賛成 9.0%、反対 41.3%、どちらともいえない 47.1%、DK2.7%
- ⑪**アメリカとの自由貿易協定（F T A）の推進意見**—推進 61.4%、推進すべきでない 32.4%、DK6.1%
- ⑫**夫婦別姓**—賛成 43.1%、反対 39.9%、どちらともいえない 15.4%、DK1.6%
- ⑬**成人年齢 18 歳引き下げに**—賛成 59.3%、反対 25.3%、DK0.8%
- ⑭**高速道路無料意見**—賛成 47.1%、反対 42.5%、どちらともいえない 9.8%、DK0.5%
- ⑮**永住外国人へ地方参政権を与えるべきとの意見**—賛成 41.2%、反対 40.2%、どちらともいえない 16.8%、DK1.9%
- ⑯**年金一元化の意見**—賛成 73.1%、反対 13.3%、どちらともいえない 12.2%、DK1.3%
- ⑰**国会議員は国会活動を地元選挙区活動より優先すべきだとの意見**—賛成 63.2%、反対 7.0%、どちらともいえない 37.8%、DK2.1%
- ⑱**政党への企業、団体献金の全面禁止意見**—賛成 41.5%、反対 38.8%、どちらともいえない 18.6%、DK1.1%

(前門 42 問中 18 問)

12・15 **イラクーバグダッド中心部「グリーンゾーン」付近で 3 台の車爆弾—5 人死亡、16 人負傷／パキスタン中部—パンジャブ州デラガジーン市場で自動車爆弾—30 人死亡、50 人以上負傷 (12・16A)**

12・17 **T「小沢氏側への献金 4 倍に、大手ゼネコン—関係者証言『関係修復のた**

め』、事務所『把握していない』